

ニュー・キング街 19 番に到着した。そして引越し早々に天王星を発見したのである。余談だが、カロラインはその場に居あわせていない。引越準備のため前の家にとどまっていたからである。ハーシェル博物館は、このニュー・キング街 19 番に現存する家に設けられたのであった。

### ハーシェル博物館

博物館はバス駅から徒歩 20 分ほどのところにある。東西に走る道をはさんで、南側に 1-34 番、北側に 35-57 番の、それぞれ 1 棟の長屋が建っている。19 番とは南棟の 19 番目ということを示す。長屋といっても、地下 1 階、地上 4 階の 5 階建てで、一部は各階 2 室、計 10 室をもつ堂々たるものだが、バスでは粗末な家といえる。斜面を切りひらいて建てたため、表口は 1 階にあるが、裏口は地下室にあり、地下室から裏庭に突き出すように鏡製作室が作られている。天王星を発見した場所は裏庭で、いまはその先に自動車修理工場が建っているが、当時は視界をさえぎるものがない絶好の観測地であったと思われる。

1977 年に設立されたハーシェル協会が、この家を買取った時は、住む人もなく荒廃していたが、協会の手により、200 年前の姿に修復され、壁紙も当時をしのばせるものに改められた。そして 1 階は天文展示室として、天王星を発見した 7 フィート望遠鏡の現寸模型をはじめ、ハーシェルが使ったり作ったりした器具、鏡、レンズ、赤外線研究器具、文書、書物などが並べられた。2 階は

音楽展示室と居間で、オルガンをはじめ、彼が使った楽器、楽譜、当時の調度品が置かれている。地下室には、ハーシェルの食堂、調理場が再現され、鏡製作室には、鏡材調合具、炉、旋盤、造園具が、当時のままに配置された。見るからに粗末なもので、ここで 36 インチ鏡の製作と取組んだとは、とても思われないほどである。しかし鏡材溶解中の大事故 (1781 年 8 月 11 日) で、一家が九死に一生を得た状況まで展示してほしいと願うのは無理というものだろう。

ハーシェルが使用した器械器具、文書、手紙、衣服などの大半は、1958 年に競売にかけられ、いまでは各地に分散されているという。そのため、この博物館の展示品は、まだ少ない。いずれ協会の努力によって、その数は増すであろうし、ぜひそう願いたいものである。

博物館は水、木曜日の 2 時から 5 時まで公開され、入場料は 25 ペンスである。

博物館を運営するハーシェル協会の会長は P. ムーアであり、博物館の管理者は、自費でハーシェルの旧居を買取ったヒリアード夫妻である。協会の会費は年 2 ポンド。協会の住所は The William Herschel Society; 290 High Street, Batheaston, BATH, BA1 7RA, ENGLAND である。一人でも多く支援してほしいと協会では言っている。

今回の旅行で、はじめて聞くエピソードを取材したし、わが国に紹介されているハーシェルの伝記に、いかに誤りが多いかも知られた。これらについては、いずれ別の機会に記したいと思う。

### 学会だより

#### 秋季年会の開催と講演の申込みについて

今秋の年会は京都市の京大会館で、10 月 13 日 (火) ~ 15 日 (木) の 3 日間開催の予定です。秋季年会のプログラムは 9 月 20 日発行の天文月報 10 月号に掲載されますので、御留意下さい。

講演申込みは「〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱筆の上 8 月 17 日 (月) までに必着するよう本年度改定した申込用紙を用いてお送り下さい。

申込み用紙は、支部理事にまとめて送ってありますので希望者は返信料 60 円切手を同封の上、下記の理事へお申出下さい。

北海道: 兼古 昇 〒060 札幌市北十条西八 5 丁目  
北海道大学物理学教室

水 沢: 真鍋盛二 〒023 水沢市星が丘町 2-12

#### 緯度観測所

仙 台: 田村真一 〒980 仙台市荒巻字青葉  
東北大学理学部天文学教室

東 京: 日江井栄二郎 〒181 三鷹市大沢 2-21-1  
東京天文台

名古屋: 長瀬文昭 〒464 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学理学部物理学教室

京 都: 石沢俊亮 〒606 京都市左京区北白川追分町  
京都大学理学部宇宙物理学教室

中国・四国: 内海和彦 〒730 広島市東千田 1-1-39  
広島大学総合科学部

九 州: 上西啓祐 〒860 熊本市黒髪 2-39-1  
熊本大学理学部物理学教室

◇講演申込者で、年会出席旅費の補助を希望される方は、支部理事を通じて、8 月 17 日 (月) までに「東京天文台内 日本天文学会理事長」あてに申込んで下さい。但し申込みのできる人は、7 月末までに 56 年度会費納入済みの人で、原則として、連名の場合でもスピーカーであり、

正式の給与を受けていない人（大学院生など）に限ります。

◇講演申込み・発表に際しては、特に次の事項に御留意下さい。

1. 講演は1人1回に限る。

2. スピーカーを発表者の筆頭に書く。

3. ビラの使用禁止、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターの使用に限る。

4. 講演内容は完成度の高い研究とする。

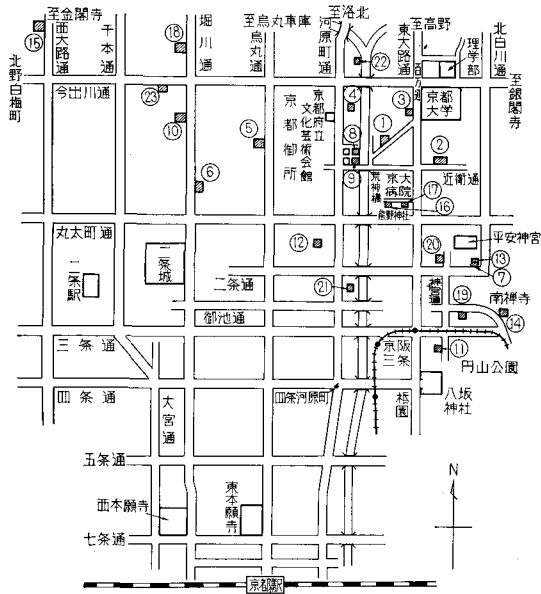
5. 講演申込書についても注意事項を厳守のこと。

◇旅館については別掲のリストを参照の上、各自で直接申込んで下さい。

京都市内の宿舎一覧表

宿 舎 名	施 設 規 模	宿 泊 費		電話番号 (市外局番 (075))	場 所 (住所及び地図中番号)	
		1泊2食付	宿泊のみ			
京 大 会 館	S 6室 T 5室		S 3,500 T 4,000	751-8311	左京区吉田河原町 15-9	1
楽 友 会 館	10名		2,500	751-1100	左京区吉田近衛町	2
日本イタリア京都館	10名		3,500	761-4356	左京区吉田牛ノ宮 4	3
(文) 御 車 会 館	26室 70名		A 2,500 B 3,300	211-5626 ~28	上京区河原町通今出川下ル 東入ル	4
(地) 平 安 会 館	90室 188名		A 2,800 B 3,400 C 3,900	432-6181	上京区烏丸通上長者町上ル 3-7	5
(公) 堀 川 会 館	61室 157名	A 4,500 B 5,100 C 5,600		432-6161	上京区東堀川通下長者町下ル 3-7	6
(私) 白 河 院	19室 46名	A 5,800 B 6,200 C 6,500		761-0201	左京区岡崎法勝寺町 77	7
(連) く に 荘	52室 128名	A 5,000 B 5,500 C 6,500		222-0092	上京区河原町荒神口上ル 東入ル東桜町 27-3	8
(大) 鴨 沂 荘	8室 20名	A 3,300 B 3,600		211-2726	上京区西三本木通荒神口下ル 上生洲町 207	9
(市) 共 済 会 館	14室 30名	A 3,960 B 3,960 C 4,720		441-8188	上京区堀川通一条上ル	10
(連) 東 山 荘	5室 15名	A 3,470 B 4,020 C 4,830		561-2594	東山区三条坊町 21	11
(農) 加 茂 川 荘	11室 31名	A 3,300 B 4,000		231-3754	中京区富小路通夷川上ル	12
(警) 洛 陽 荘	22室 36名	A 4,720 B 5,680		771-5634	左京区岡崎法勝寺町 77	13
(郵) 洛 翠 荘	17室 70名	A 3,200 B 3,500		771-3535	左京区南禅寺下河原町 67	14
(N) 農 林 年 金 会 館	39室 168名		A 1,900 B 2,600	462-7746 ~49	北区衣笠北天神森町 21	15
池 田 屋 本 館	35名	6,000	3,500	761-4964	左京区聖護院鴨川東	16
近 江 館	30名	6,000	3,900	771-1088	左京区聖護院川原町	17
京 都 シ テ ィ ホ テ ル	洋 50室 和 33室	8,000 (税込)	3,900	415-0140	上京区堀川通り今出川上ル 北和橋町 87	18
ト ラ ベ ラ ー ズ イン	150名	(税・サ不要)	3,800 (バ・ト付) 3,000 (バス共同)	771-0225	左京区岡崎円勝寺町 91	19
芝 蘭 会 館	20名	朝食 400円 夕食なし	2,000 2,500	771-0958	左京区岡崎最勝寺町	20
京 都 ビ ジ ネ ス ホ テ ル			S 4,000 T 5,000	222-1220	中京区河原町二条下ル	21
京 都 イン 加 茂 川		(込・サ税)	S 4,000 T 7,000	256-2681	北区出雲路橋西詰畔	22
プ チ ホ テ ル ベ ン シ ョ ン 京 都	29室 88名	軽食 500 夕食 1,500	S 3,900 T 7,800	431-5136	上京区今出川堀川西入ル	23

S: シングル T: ツイン バ: バス ト: トイレ



内地留学奨学金希望者募集

昭和56年度の内地留学奨学金を希望される方は9月30日までに所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内 日本

天文学会理事長」宛にお申し込み下さい。応募用紙は庶務理事に御請求下さい。なお奨学金として支給可能額は総会記事中の昭和56年度予算の内地留学奨学金特別会計を参照して下さい。

お知らせ

第14回日本アマチュア天文研究発表大会

昭和56年10月25日(日)9時より  
富山市吉作城山「羽野ハイツ」(Tel 0764-36-0191)  
にて、発表申し込みは8月20日迄に800字程のアプストラクトをつけて  
富山市西中野町 3-1-19  
富山市科学文化センター内 富山県天文学会事務局宛

日本学術会議天文学研究連絡委員会の委員

第12期の天文研連の委員の選挙はIAUのGeneral Membersによって行われ、次の20名が当選した。  
小田 稔, 海野和三郎, 小平桂一, 小暮智一, 杉本大一郎, 早川幸男, 川口市郎, 森本雅樹, 高窪啓弥, 奥田治之, 田中春夫, 林忠四郎, 内田 豊, 北村正利, 寿岳 潤, 高瀬文志郎, 守山史生, 青木信仰, 海部宣男, 坪川家恒

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価380円(〒70円) '81-9月号・8月5日発売!

●9月号のおもな内容

- ★8月12日はペルセウス座流星群の極大日。今年も好条件のこの観測ガイドを、おなじみの藤井旭さんから。
- ★自分が持っているカメラのレンズのクセや特長を、簡単に調べる方法はないものか……?
- ★連載中の「近づくハレー彗星」はいよいよ、接近に対する情報です。いつ、どの方向から接近してくるのか、最も条件の良い時はいつかなどにくわしく答えます。
- ★天体写真撮影のもっともむずかしいオートガイドについて、平林さんがアメリカの機械を紹介しながら……
- ★藤井旭さんのニュージーランド星の旅、ハーシェル博物館訪問記など。

写真で見る銀河系の星雲・星団II 球状星団・惑星状星雲 散光星雲・暗黒星雲

我われの住む太陽系を含む銀河系には、多くの星雲・星団があります。この本は、アマチュア天文写真家No.1といわれる古田俊正氏の31cm反射鏡による美しい天体写真集です。

この巻では、球状星団、惑星状星雲、散光星雲、暗黒星雲を105枚の写真で紹介いたします。特に、暗黒星雲をまとめて取りあげた本は、これがはじめてです。

●古田俊正著/B6判・128ページ・定価700円発売中

写真で見る銀河系の星雲・星団I 散開星団

●古田俊正著/B6判・120ページ・定価700円発売中

写真で見る自作天体望遠鏡

●天文ガイド編/B6判・128ページ・定価700円発売中